

令和7年度（2025年度）

金沢大学法科大学院

入学試験問題

刑 法

C日程入試

（注意）

1. 問題冊子（表紙を含む）は2枚です。
2. 問題冊子は指示があるまで開かないで下さい。
3. 問題冊子と下書き用紙は持ち帰って下さい。
4. 解答は、鉛筆、シャープペンシル、ペン、ボールペンのいずれで記入しても構いません。
5. 解答にあたっては、どの問題から解答しても構いません。ただし、どの問題についての解答であるのかを答案中に明示してください。

## 令和7年度（2025年度）金沢大学法科大学院入学試験問題

試験科目	刑	法
------	---	---

以下の問題について解答しなさい。

### 問題1（各5点）

以下の語句あるいは概念を、具体例を示しつつ説明しなさい。

- (1) 不真正不作为犯における作為義務
- (2) 「公務」と「業務」の区別

### 問題2（15点）

次の事例におけるXの罪責を論じなさい。ただし、「自動車の運転により人を死傷させる行為等の処罰に関する法律」以外の特別法違反の点は論じる必要はない。

Xは、給料日前で金に困っていたため、K市内にあるスーパーA（B店長）で日用品などを万引きすることとした。Xは営業中のAに入口から入り、万引きする物について品定めしていたが、Aは特別警戒中で店員や警備員が通常よりも多く配置されていたため、Xは万引きを行うことを断念し、A内にあるトイレのみ使用して立ち去った。Aの入口には、「冷やかし厳禁！」と大書されたポスターが貼ってあり、Aに入る際には必ず目に入るようになっていた。

その後Xは自らの軽自動車を運転してK市内を走っていたところ、今後の生活について考えていたため運転操作が疎かになり、誤って歩道に乗り上げ、歩道を歩いていたCに衝突した。Cは腹部破裂の傷害を負っており、手当てをしても3日以内には死亡することが確実であったが、Xは、痛みに泣き叫ぶCを見て楽にしてやろうと思い、持っていたナイフでCの胸を滅多刺しにした。Cはその場で死亡した。

以上